

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成19年12月20日

【事業年度】 第32期（自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日）

【会社名】 日特エンジニアリング株式会社

【英訳名】 NITTOKU ENGINEERING CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 近 藤 進 茂

【本店の所在の場所】 埼玉県さいたま市南区白幡5丁目11番20号

【電話番号】 (048) 837-2011（代表）

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 森 下 弘 祥

【最寄りの連絡場所】 埼玉県さいたま市南区白幡5丁目11番20号

【電話番号】 (048) 837-2011（代表）

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 森 下 弘 祥

【縦覧に供する場所】 株式会社ジャスダック証券取引所
(東京都中央区日本橋茅場町1丁目4番9号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成16年6月25日に提出いたしました第32期（自平成15年4月1日 至平成16年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正を要する箇所がありましたので、有価証券報告書の訂正報告書を関東財務局長に提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部【企業情報】

第3 設備の状況

1. 設備投資等の概要

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3 設備の状況

1. 設備投資等の概要

（訂正前）

当社グループ（当社及び連結子会社）では、コア事業への経営資源集中の方針のもと、省力化、合理化及び製品の信頼性向上のための投資を行っております。

当連結会計年度は巻線機事業の生産設備増強を中心に全体で1億32百万円の設備投資を実施いたしました。巻線機事業におきましては、マレーシアの日特プレジジョン社における製品品質の向上を目的とした加工設備の更新および日特機械工程（蘇州）有限公司における工場立ち上げに伴う生産設備の新規導入、ならびに本社における事務効率向上を目的とした基幹システムの導入等、85百万円の設備投資を行いました。また共通費用として事務効率化、セキュリティ対応を目的とした情報システム投資等4百万円の設備投資を行いました。なお、所用資金につきましては、いずれの投資も主に自己資金によるものであります。

また巻線機事業につきましては、当社長野支店の所在移転に伴う建物及び構築物の除却等による10百万円の除却損等を計上いたしました。

（訂正後）

当社グループ（当社及び連結子会社）では、コア事業への経営資源集中の方針のもと、省力化、合理化及び製品の信頼性向上のための投資を行っております。

当連結会計年度は巻線機事業の生産設備増強を中心に全体で91百万円の設備投資を実施いたしました。巻線機事業におきましては、マレーシアの日特プレジジョン社における製品品質の向上を目的とした加工設備の更新および日特機械工程（蘇州）有限公司における工場立ち上げに伴う生産設備の新規導入、ならびに本社における事務効率向上を目的とした基幹システムの導入等、85百万円の設備投資を行いました。また共通費用として事務効率化、セキュリティ対応を目的とした情報システム投資等5百万円の設備投資を行いました。なお、所用資金につきましては、いずれの投資も主に自己資金によるものであります。

また巻線機事業につきましては、当社長野支店の所在移転に伴う建物及び構築物の除却等による10百万円の除却損等を計上いたしました。